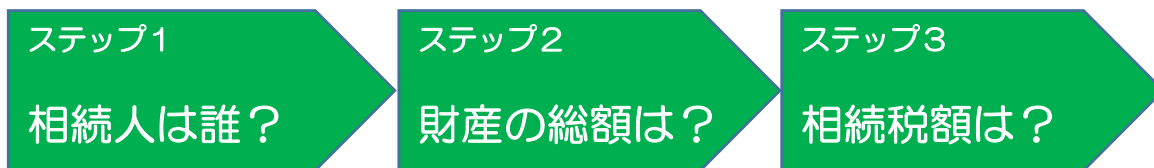


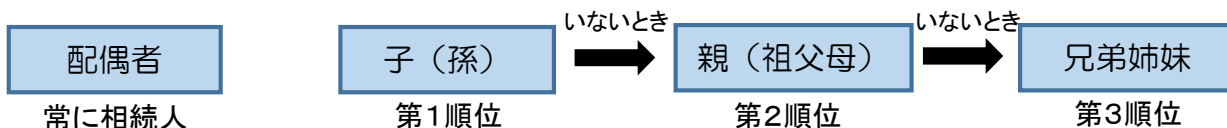
■相続税診断シート

相続税がいくらになるのかを、手順に沿ってシミュレーションしてみましょう。

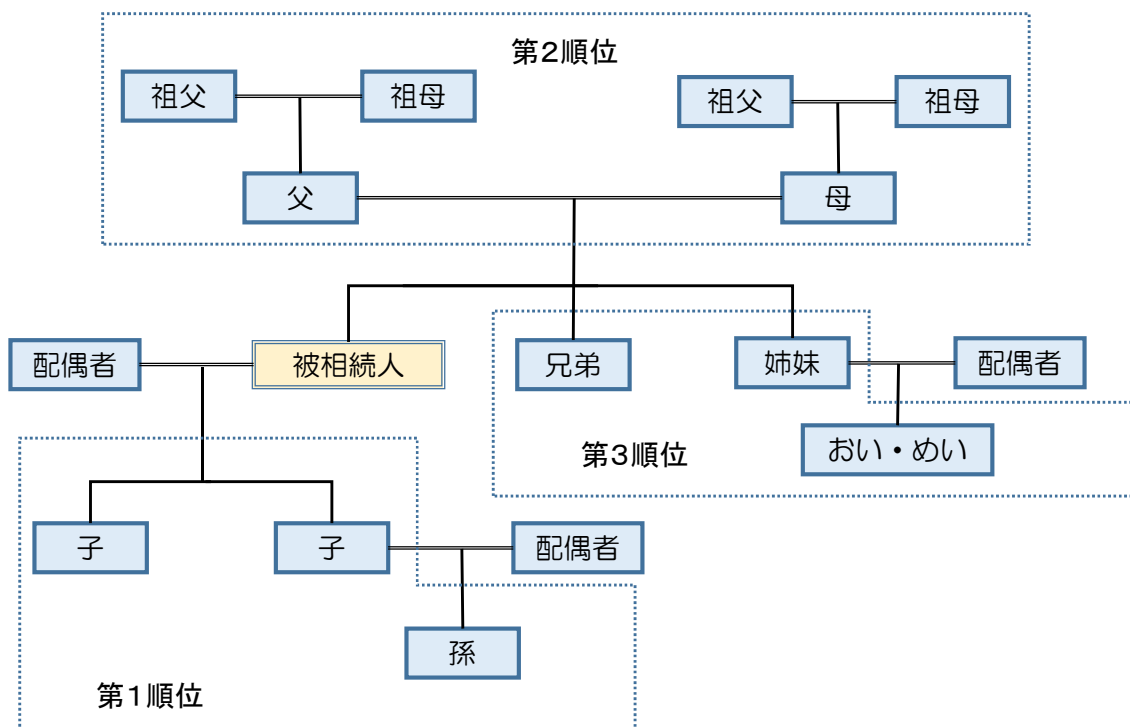


ステップ1 相続人が誰かを知ましょう

どのような関係の人が、どういう順番で相続人になるのかは、以下のようになっています。



- 例) 配偶者と子供がいるとき ⇒ 配偶者と子供が相続人
- 配偶者のみで子供がいないが、親がいるとき ⇒ 配偶者と親が相続人
- 配偶者あり、子供と親がいないとき ⇒ 配偶者と兄弟姉妹が相続人



○ご自身の家系図をかいてみましょう。

A large, empty rounded rectangular box with a black border, intended for drawing a family tree. The box is vertically oriented and occupies most of the page below the instruction.

ステップ2 財産を整理してみましょう

あなたの財産を、資産と負債のそれぞれで整理しましょう。

資産

○不動産（固定資産税納税通知書に記載の固定資産税評価額でOK）

種類	所在地番・家屋番号・地目・地積・床面積	金額
例) 土地	神戸市中央区江戸町85番1 宅地 150㎡	20,000,000円
例) 建物	神戸市中央区江戸町85番1 居宅 家屋番号	10,000,000円

○預貯金

金融機関名／支店名	種類	口座番号	金額
例) 神戸山手銀行／三宮	普通預金	1234567	350,000円
例) 神戸山手銀行／三宮	定期預金	56789	2,000,000円

○株式・投資信託

金融機関名／支店名	種類	口座番号	金額
例) 神戸証券／三宮	上場株式	〇〇商店 500株	535,000円
例) 神戸山手銀行／三宮	投資信託	△△ファンド10,000口	1,000,000円

○その他資産

種類	内容	金額
例) ゴルフ会員権	神戸山カントリークラブ	1,000,000円

資産合計①

円

負債

種類	内容	金額
○×銀行	カードローン	500,000円

負債合計②

円

ステップ3 相続税がかかるか確認しましょう

まず、ステップ1で確認した法定相続人の数から、基礎控除額を計算します。

$$\begin{array}{r} 3,000\text{万円} + 600\text{万円} \times \text{法定相続人の数} \\ \text{人} \\ \hline = \text{基礎控除額③} \quad \text{万円} \end{array}$$

ステップ2で集計した資産合計から、負債合計と基礎控除額を引きます。

	資産合計①	円
—	負債合計②	円
—	基礎控除額③	万円
<hr/>		
=	④	円

■最終結果■

④の額がマイナス～0円の場合・・・今の財産額の評価では、相続税はかかりません。
ただし、今後の財産額の変動や税制の改正によっては相続税がかかる可能性があります。

④の額がプラスの場合・・・・・・・・・・相続税がかかる可能性があります。
申告が必要です。

注) この結果は、簡易なシミュレーションであり、詳しいことは一度税理士にご相談ください。